

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平2-79524

⑬ Int. Cl.³

H 04 B 7/28

識別記号

1 0 6

庁内整理番号

D

7608-5K

7608-5K

⑭ 公開 平成2年(1990)3月20日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全52頁)

⑮ 発明の名称 移動体通信の通信方法

⑯ 特 願 昭63-230691

⑰ 出 願 昭63(1988)9月14日

⑱ 発 明 者 伊 藤 貞 男 東京都杉並区久我山1丁目7番41号 岩崎通信機株式会社
内

⑲ 出 願 人 岩崎通信機株式会社 東京都杉並区久我山1丁目7番41号

⑳ 代 理 人 弁理士 内田 公三

明 細 書

1. 発明の名称

移動体通信の通信方法

2. 特許請求の範囲

複数のゾーンをそれぞれカバーしてサービス・エリアを構成する各無線基地手段(30)と、前記サービス・エリア内に存在する移動無線手段(50)があり、前記移動無線手段から位置を登録するための自己の識別情報を含む位置登録信号の送出をしたときに、前記各無線基地手段のうちこの位置登録信号を良好な状態で受信したすくなくとも1つの交信可能な無線基地手段では、前記各無線基地手段との間を伝送路で結合された前記各無線基地手段を統轄し管理するための閥門交換手段(20)へ前記位置登録信号を転送し、この位置登録信号を転送された前記閥門交換手段では、前記位置登録信号に含まれた前記移動無線手

段の識別情報および前記移動無線手段と交信可能な前記無線基地手段の識別情報を登録する移動体通信の通信方法において、

前記移動無線手段の識別情報に送受信ダイバシティの実行可能な多重度を含ませる移動体通信の通信方法。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は移動体通信の通信方法に関する。さらに、小ゾーン構成を用いる移動体通信において、通信中の移動端末が移動することにより、通信品質が劣化したとき、その通信品質を満足させる通信方法に関する。

より具体的には、周波数有効利用率、通信品質、無線回線の制御能力などに優れた送受信ダイバシティ可能な通信方法を提供せんとするものである。

〔従来の技術〕

一般に広いサービス・エリア内で移動体通信を

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平2-61668

⑪ Int.Cl.⁴

G 03 G 15/06
13/06
13/08

識別記号

1 0 1

庁内整理番号

6777-2H
6777-2H
8807-2H

⑬ 公開 平成2年(1990)3月1日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全4頁)

⑭ 発明の名称 現像方法

⑮ 特 願 昭63-211906

⑯ 出 願 昭63(1988)8月26日

⑰ 発 明 者 古 賀 欣 郎 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式
会社内

⑱ 出 願 人 セイコーエプソン株式 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号
会社

⑲ 代 理 人 弁理士 鈴木 喜三郎 外1名

明 細 書

微とする請求項1記載の現像方法。

1. 発明の名称

現像方法

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、現像方法に関し、更に詳しくは接触式の現像方法に関する。

2. 特許請求の範囲

〔従来の技術〕

(1) 静電潜像を形成する潜像担持体に隣接して配設され像形成体であるトナーを搬送するトナー搬送体を有し、前記トナー搬送体を前記潜像担持体に押圧して前記トナー搬送体上の前記トナーを静電的に前記潜像担持体に付着させて前記静電潜像を顕像化する現像方法に於て、前記トナー搬送体が少なくとも導電性支持体と絶縁層とを含み、前記トナー搬送体の一部に前記絶縁層の絶縁抵抗を計測する抵抗計測手段が接続されることを特徴とする現像方法。

従来の接触式の現像方法は、USP-2895847に開示されるようなコンタクト現像法やUSP-3152012に開示されるようなインプレッション現像法や特開昭57-114163に開示されるようなフィード現像法等が考案されている。

〔発明が解決しようとする課題〕

(2) 前記抵抗計測手段により出力される前記絶縁層の絶縁抵抗に応じて、前記潜像担持体と前記トナー搬送体との間に現像バイアス電圧を印加する現像バイアス印加手段を制御することを特

しかし、前述の従来技術では、環境変化特に低温状態でトナー搬送体の絶縁層の絶縁抵抗が過大になり現像時間が不足して十分な現像トナー量が得られず、低温状態での絶縁層の硬化及び高抵抗化により単位重量当りの帯電量の大きい微小粒径のトナーが非画像部に付着ししかも画像部のトナ